

事例12

山への関心と将来の活用について

| | |
|------|---|
| 内容 | <p>①山で何が見えるか、山について何か知っていること、尋ねたいこと</p> <p>②山を将来活用するとしたら</p> <p>①②について20人ぐらいのグループで話し合いをし、山の将来性について考える。</p> |
| ねらい | <p>子どもたちは、花粉症や、川の危険箇所等の理由により、河原や山へ近寄らない世代であるが、子どもたちの考えを聞き、山の将来性について考えることで、山への理解を深めていく。</p> |
| 学習効果 | <p>無から有で、日常の大切さに気づくことができる。</p> |
| 関連教科 | <p>理科、社会</p> |
| 対象学年 | <p>小学校3～4年生</p> |
| 対象人数 | <p>20名(1グループ)、2班ぐらい</p> |
| 場所 | <p>地元小学校付近の河原の堤防より山の見える場所</p> |
| 時期 | <p>4～5月ぐらい(1.5時間ぐらい)</p> |
| 進め方 | <p>1. 学校からしばらく、川沿いを歩く。(約10分)</p> <p>2. 川原に座り、山を見ながら、内容の①②について子どもたちの声を聞く。</p> |

| | |
|----------------|--|
| ポイント | あくまで共通認識を避けて、こんなことを思っている、こんな事を考えているという風に、各自が皆に話をしながら考えていく。 |
| 道具・材料 | 筆記用具 メモ |
| 所要時間 | 1.5時間 |
| 経費 | 無償（メモ用紙は学校負担） |
| 森のせせい 氏名・団体 | 雲出川フロンテア（森のグルッペ） 福井 勝 |

